

# 電波利用セミナー 【アンケート集約結果】

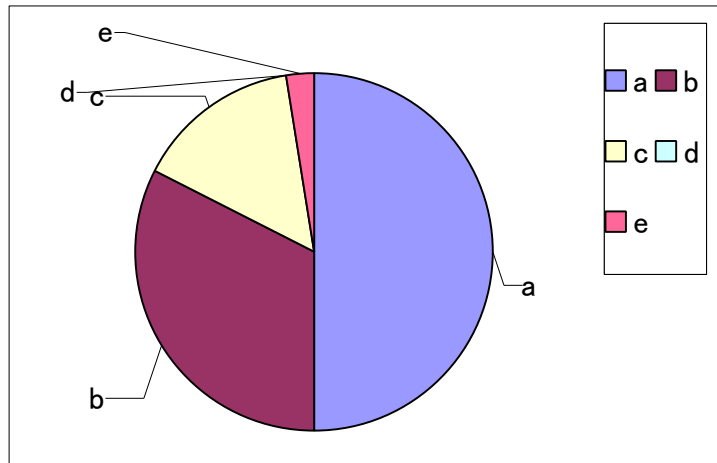
- 日時 平成24年1月31日(火) 13:30~17:00
- 会場 ホテルセンチュリー21広島 3階「プラド」の間
- 主催 総務省中国総合通信局、公益財団法人ちゅうごく産業創造センター、中国情報通信懇談会
- 参加者数/アンケート回収数 85名/41名(回収率 48.2%)

1 各講演の内容はいかがでしたか。

- a. 大いに参考になった
- b. ある程度参考になった
- c. 可・不可なし
- d. あまり参考にならなかった
- e. よく理解できなかった

①講演1:『地域WiMAXを利用したヘルスケアサービス』  
講師:株式会社ハートネットワーク 代表取締役 大橋 弘明 氏

番号	回答数
a	20
b	13
c	6
d	0
e	1
計	40



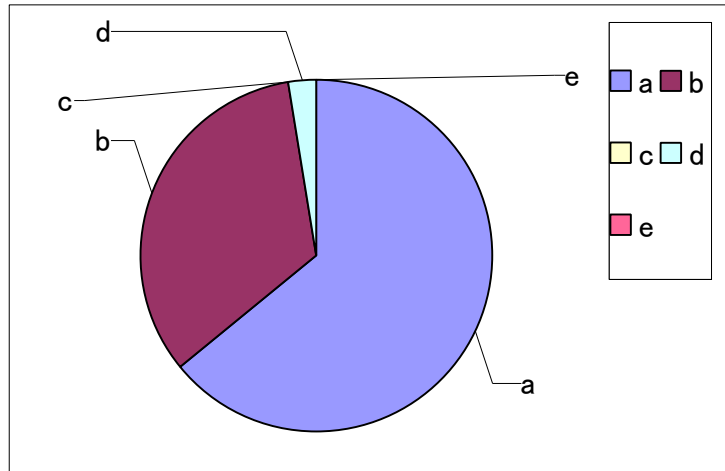
### その他ご意見

1. 現在の活用状況がよくわかった。
2. WiFi、WiMAXのちがいが良くわかった。これからは無線系と思っていたので心強く思った。
3. 小規模、地方都市でのICT利用拡大のヒントがあった。利用ユーザの利便性がカギ。
4. 他の無線関係との比較などもっと説明が欲しい。WiMAXは屋内では弱いイメージがあるか・・・
5. 地域WiMAXをサービス視野に入れる中で大変参考になった。
6. 利用促進にはつながるが、地域での取り組みの情報もいただきたかった。
7. 地域医療の展開、在宅医療ではインフラ網として、ケーブルテレビ各社様の協力は必ず必要となる。
8. WiFiとWiMAXの関係がよくわかった。
9. 医療機器への電磁波障害は？
10. セキュリティが気になりました。
11. 中国地域山間部では即応用可能では・・・。
12. 各地域でのシェアも公開いただければ更に良かったと思います(愛媛県以外、広島県、香川県等)
13. 在宅介護の充実を実現する為の支援技術として期待しております。
14. 安価で安定した通信手段を模索中であるため、ためになった。広島における現状も知りたい。
15. コストは安価だが、まだエリアの問題があると認識している。在宅で使える。
16. IT活用し全ての地域で平等な医療を受けることができる環境作りが出来たらと思った。

②講演2:『我々が構築した医療情報ネットワークの紹介と将来計画  
～在宅診療支援について～』

講師:厚生連 広島総合病院 病院長補佐(医学博士) 藤川 光一 氏

番号	回答数
a	25
b	13
c	0
d	1
e	0
計	39

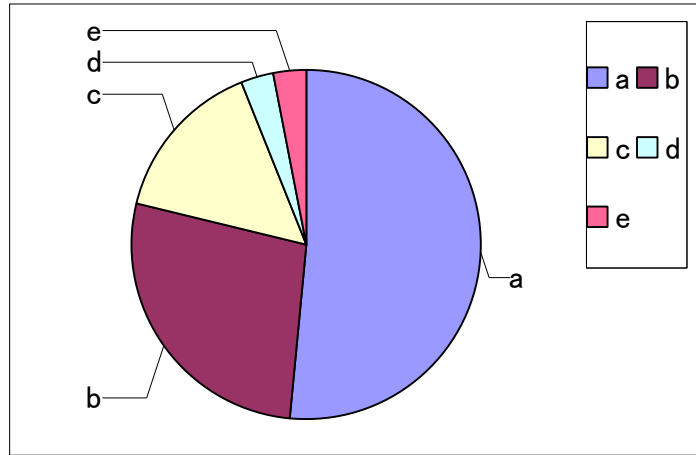


その他ご意見

1. よくわかった。
2. 医療現場でICT利用による課題解決の事例が非常によくわかりました。
3. 次は計画実現した内容を公開できると良いと感じます。
4. 患者の立場に立ったシステムとして非常に素晴らしい。病院、診療所にとって情報連携はいい点もあるが悪い点もある。本当に協力体制が実現出来れば素晴らしい。
5. ITビジネスモデルの具体的事例として大変参考になった。
6. 非常に広範囲でのネットワークが構築されておりますが、データの転送(DICOM)はサイズの問題、転送速度の改善が必要かと思われます。
7. 患者基本情報に本人を特定できるもの(サンプル髪の毛?)が保管できるセンター、或いは場所も持っておくと万一の災害時の本人特定となるかもしれません。(素人考えです)
8. IDの設定が課題ですが、2000年以降の出生地・所在地をベースにして一生国内で使用出来ればメリットが出ると考えます。
9. 将来の医療の形を考えられた素晴らしい内容であったと感じました。
10. 地域医療ネットワークの充実は住民にとって安心して過ごせる場所を与えてくれると思います。
11. 地元の医療情報ネットワークに関してはあまり聞く機会がない為、いい機会になった。
12. 医療と介護の連携を是非実現化して下さい。
13. 身近にネットワークがあり心強い。
14. 在宅医療を支援する為に安心して利用できるネットワークが広がることに期待しています。

③講演3:『我国における先進医療機器の研究開発・臨床応用・製品化に関する諸問題と対策』  
 講師:国立循環器病研究センター 研究所・人工臓器部 部長(医学博士) 巽 英介 氏

番号	回答数
a	17
b	9
c	5
d	1
e	1
計	33



その他ご意見

- 幅広いお話をいただきました。
- 情報は大変に良かったのですが、聞きたい目的とちょっと違ってしまいました。申し訳ありません。
- 人工心臓の国産器についての紹介があり、新聞記事との関連がつかめて大変参考になった。
- 最先端医療機器の商品化は進んでいますが、高齢化社会に適した商品が開発されているのか不明です。是非次回は高齢化社会に適した商品(低コスト)の説明が聞きたい。
- ライフサイクルが18ヶ月と短くスケールメリットの小さい医療機器の事業に中小企業が参入できるのか疑問に思う。
- 中小企業が医療分野にどうやって入っていくか課題があるように感じた。
- 現在の医療機器開発にともなう問題点がまとまっており参考になった。
- 中小製造業の参入の可能性などをもっと詳しくお聞きしたかったです。
- 医療業界の実情確認と今後の方向性の参考になりました。
- 日本技術をいのちの為に続けて頂きたいと思います。
- 話は難しかったが医療の現場での問題がよくわかった。
- 内容の理解については今後の自分の勉強次第ですが参考になりました。
- 医療機器に対する意識が変わりました。日本製の医療機器の開発に期待します。

2. 医療福祉機器とICT利用に関して、今後実現したら良いとお考えのことをお書き下さい。

- 入院患者の家族が入院の治療や検査など状況がよくわかるようなことがICTで出来れば良いのではと思う。
- 必要な時に現場の装置の前でリアルタイムに情報得られるシステム。技術情報、ヘルプ情報等たくさんありそうな気がします。
- 患者自身が自分のカルテや検査データを見る事ができる仕組み
- 患者自身が自分の医療データを全て保持出来る仕組み。共通背番号にもとづきクラウド上にあれば良い。
- 地域インフラであるFTTHを活用した遠隔医療の加速、手軽に利用できる医療相談。
- システムの構築側として、行政・医師会がきちっと連携して主導する。
- 規格統一による各ネットワーク間の連携
- インターネットでの生体データ伝送による遠隔医療
- メーカー間の医療情報変換システム(電子カルテ、PACS等)
- 産官学連携のためにもネットワークの整備が重要だと考えます。行政をどのように動かして整備していく事ができれば、ITが医療福祉の分野に役立つ方法を考えていきたい。
- 緊急時にスマートフォンなどを利用した応急処置、対応。
- 独居老人の把握、健康状況のモニター
- 個人データのICチップなどによる管理

14. 生きている人だけでなく死因をよく調べるというアプローチも必要と考えています。
15. 患者本位の体制ができればと願っています。

3 次回取り上げてほしい医療・福祉関連の講演テーマや講演者についてお書き下さい。

1. 生体信号利用の福祉機器について話を聞いてみたいです。前機械技研、前広島県立大の前田祐司先生とか。
2. 医療機関の省エネ対策、緊急時の電源確保などのエネルギー管理の先進事例など
3. 地域医療連携、病院間のセキュリティ
4. 団塊の世代の高齢化を迎えるにあたっての福祉に関するビジョン。
5. 要素技術として必要なもの、又は応用分野についての総合的解説が必要と思われる。
6. 通信事業者及びCATV事業者の医療・福祉関連の取り組み
7. 医療の安全に関する問題など
8. 先進医療機器の開発事例の紹介
9. 電波利用にこだわらず探して欲しい。
10. 福祉関連の助成金等を上手に活用する事例、介護保険の基礎知識と現状

4 その他ご感想を自由にお書き下さい。

1. 各講演の要旨が各々5行くらい書いてあったら助かります。これは是非お願いしたいです。
2. 24時間在宅介護ヘルパーさんのアイテムに提案出来る様に考えたい。
3. 医療への参入障壁が少しずつ少なくなりつつあることを訴える場としてほしい。
4. 遠隔読影事業を実施している当社では、病院間の画像のやり取りはネットワークを活用したサービスを提供していくことを進めています。また、これらの医療情報を診療所に送るシステムも検討中ですが、予算組みが出来ていない。(契約診療所がある程度増えるまでの採算性を見込むのが困難なところです。)
5. とても参考になりました。山口、岡山に肩を並べるくらい盛んになればと思います。
6. ありがとうございました。
7. 同種(医療)の研究会が乱立している。整理してほしい。
8. 巽先生の資料、もっと大きな印刷をしてもらえたらありがたかったです。(字が小さくて見えにくい)
9. 勉強になりました。ありがとうございました。
10. 13時半～17時という時間設定が大変助かります。
11. 安心して在宅介護を受けることができる環境作りを考えていきたい。